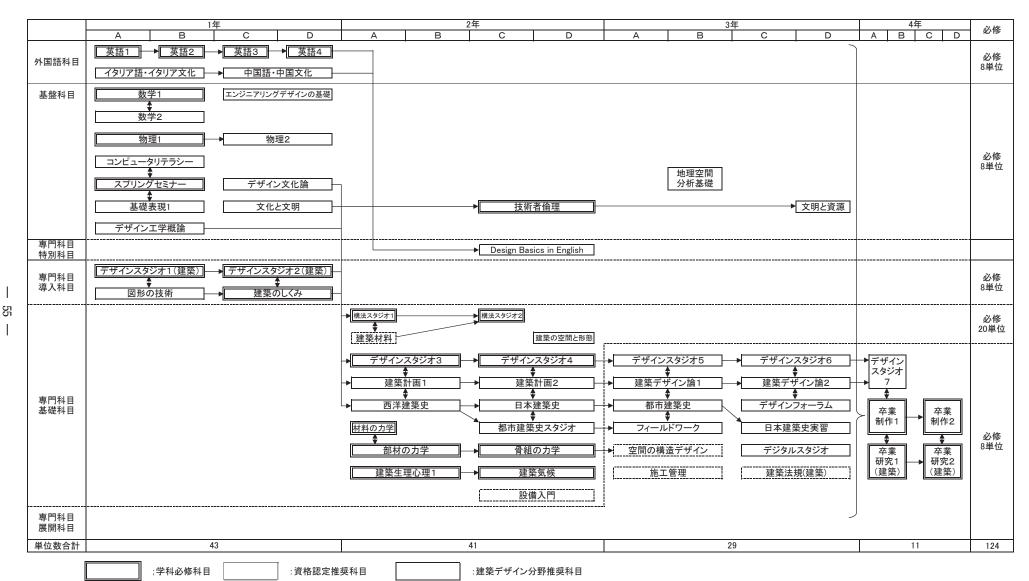
## 5.1 建築デザイン分野

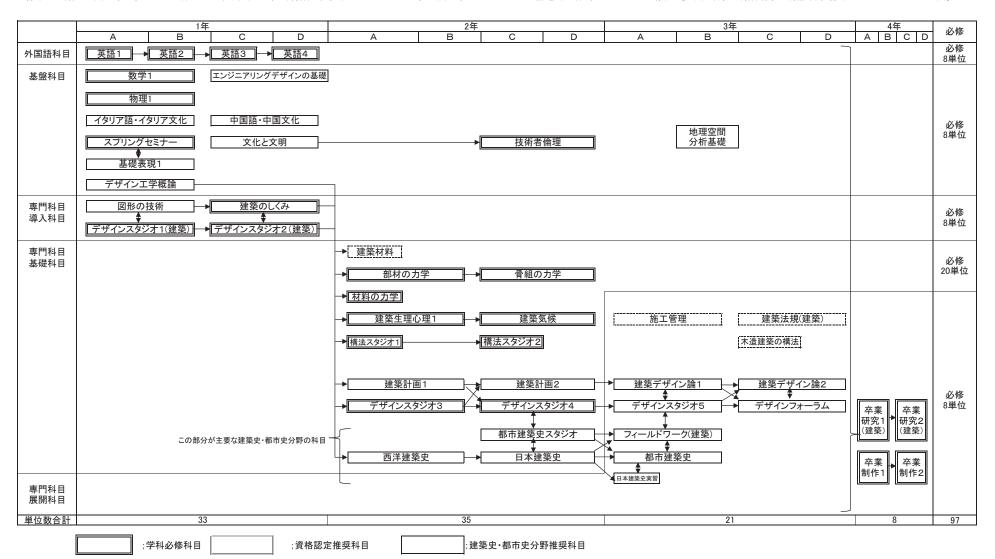
幅広い建築計画理論と美的素養を基に、建築の企画・計画の流れを把握し、建築・都市という実体にまとめ上げ、デザインする能力を有する建築家・建築設計技術者を志向。



<sup>\*</sup>各年次履修科目登録上限49単位以内。必修52単位のほかに、専門科目展開科目の選択28単位以上。卒業所要単位124単位以上。 また、3年から4年への進級には、3年までのすべての必修科目44単位かつ合計90単位以上の取得済みが条件。 この表は系の履修推奨科目と科目間の関係を示すものであって、卒業や資格の条件を満たすためのすべての科目は表記していない。これ以外の科目は各自よく考えて履修登録すること

#### 5.2 建築史·都市史分野

都市と建築の歴史を学び、それらが成立した社会的・文化的背景を把握することによって、歴史を学ぶことがいかに創造的な行為であるかを理解する。研究者、建築保存、建築設計、都市プランナーなどを志向。

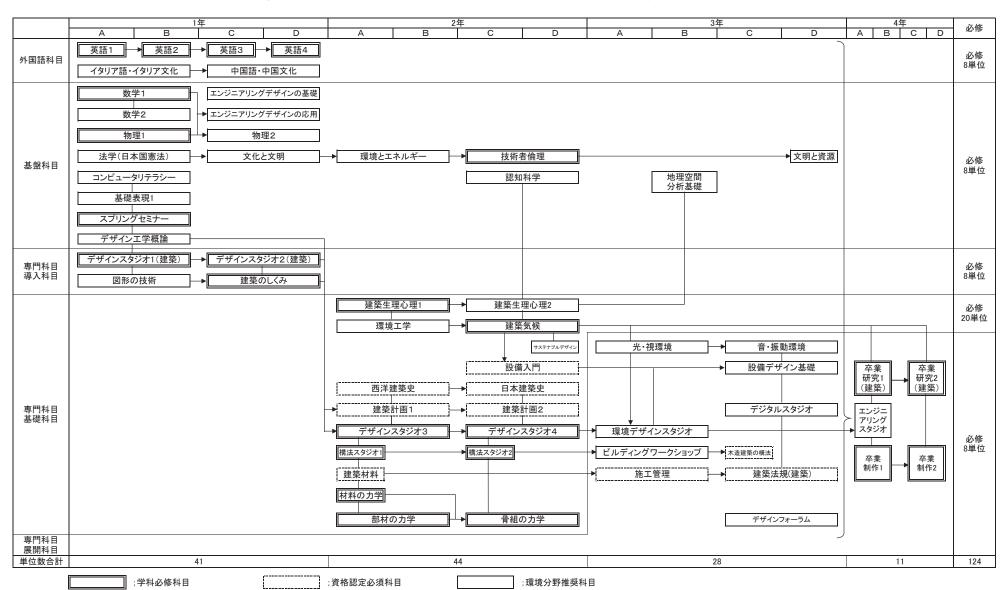


<sup>\*</sup>各年次履修科目登録上限49単位以内。必修52単位のほかに、専門科目展開科目の選択28単位以上。卒業所要単位124単位以上。 また、3年から4年への進級には、3年までのすべての必修科目44単位かつ合計90単位以上の取得済みが条件。 この表は系の履修推奨科目と科目間の関係を示すものであって、卒業や資格の条件を満たすためのすべての科目は表記していない。これ以外の科目は各自よく考えて履修登録すること。

## 5.3 環境分野

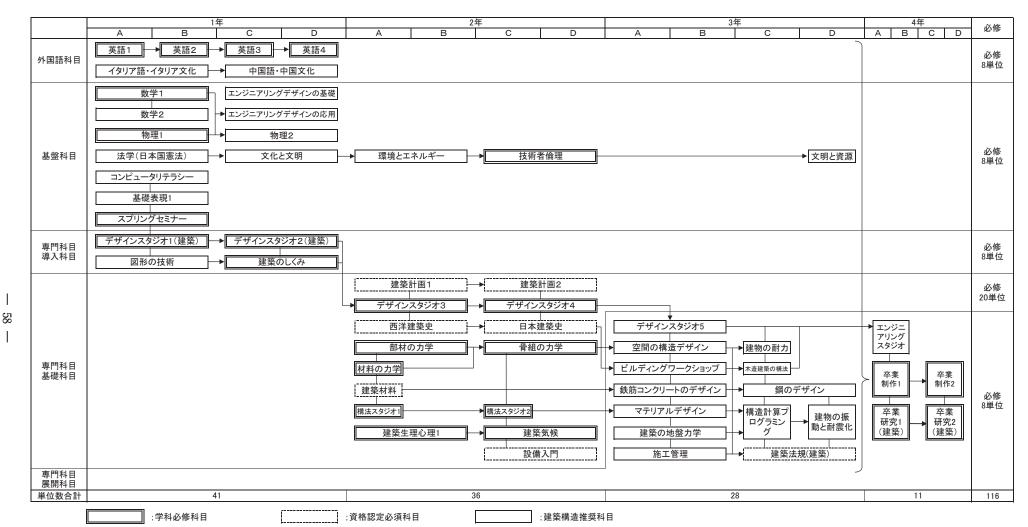
57

環境工学・建築設備の基礎知識をもとに、安全で健康、快適、利便性の高い建築・都市のサステナブルなデザインを行うことができる環境デザイナー/エンジニアを目指す。



<sup>\*</sup> 各年次履修科目登録上限49単位以内。必修52単位のほかに、専門科目展開科目の選択28単位以上。卒業所要単位124単位以上。 また、3年から4年への進級には、3年までのすべての必修科目44単位かつ合計90単位以上の取得済みが条件。 この表は系の履修推奨科目と科目間の関係を示すものであって、卒業や資格の条件を満たすためのすべての科目は表記していない。これ以外の科目は各自よく考えて履修登録すること。

巨大な重量に常時耐え、地震や台風などの過酷な非常時にも安全堅牢な建物を科学と技術と叡智により合理的かつ美しく設計することのできる建築構造技術者・デザイナーを目指す。



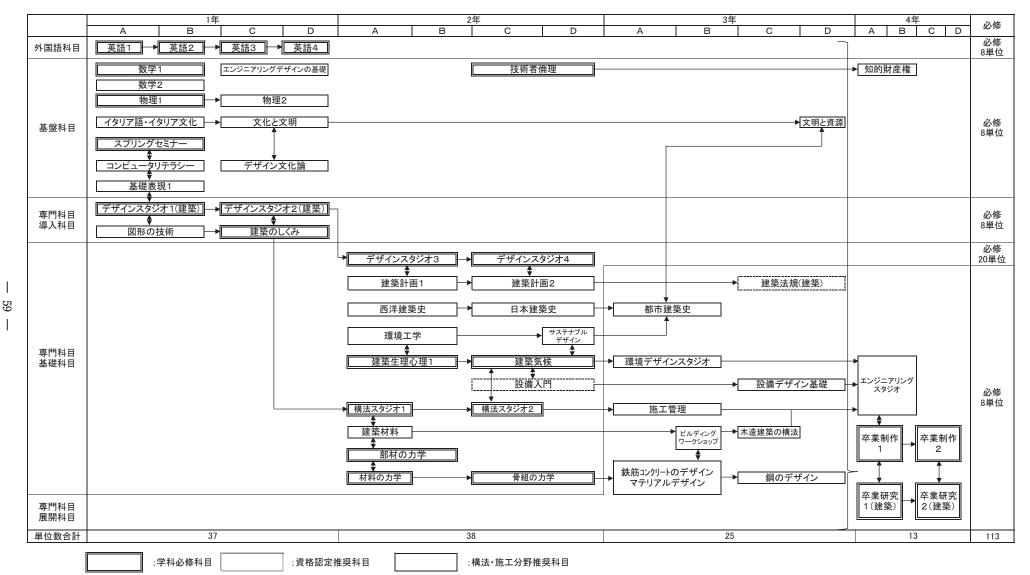
<sup>\*</sup>各年次履修科目登録上限49単位以内。必修52単位のほかに、専門科目展開科目の選択28単位以上。卒業所要単位124単位以上。

また、3年から4年への進級には、3年までのすべての必修科目44単位かつ合計90単位以上の取得済みが条件。

この表は系の履修推奨科目と科目間の関係を示すものであって、卒業や資格の条件を満たすためのすべての科目は表記していない。これ以外の科目は各自よく考えて履修登録すること。

#### 5.5 建築構法・施工分野

建築物の構成方法について総合的な知識を有し、建築材料や施工方法の創意工夫を通して現代の社会的責任を果たすことのできる建築技術者を志向。



<sup>\*</sup>各年次履修科目登録上限49単位以内。必修52単位のほかに、専門科目展開科目の選択28単位以上。卒業所要単位124単位以上。 また、3年から4年への進級には、3年までのすべての必修科目44単位かつ合計90単位以上の取得済みが条件。 この表は系の履修推奨科目と科目間の関係を示すものであって、卒業や資格の条件を満たすためのすべての科目は表記していない。これ以外の科目は各自よく考えて履修登録すること。

カリキュラムマップ

# 各科目が属するディプロマポリシーに〇を付記しています。

				ディプロマボリシー 学位授与の方針についての目的や目標						
				法政DP-I:人文科学、社会科学、   法政DP-II:専攻する学問分野の知   法政DP-III: 言語・数理・情報リ   法政DP-IV:社会が抱える新たな   法政 DP-V:主体的、自主的、能   法政DP-VI:グローバルな視点と   法政DP-VII:総合的に修得した						
区分		学年	科目名		識・技能をもって、他の学問分野					
				II .						
		' '	1100	広い知識をもって、複眼的、多面		もって、言語や文化の相違を超え		形成し、発信しながら、他者と協		
				的に思考する能力を身につけてい	を応用する能力を身につけてい	て他者と意見交換する能力を身に	説明する能力を身につけている。	調し、協働する姿勢を身につけて	可能な地球社会の構築」に寄与す	貢献を果たし、市民社会で活躍
				<b>a</b> .	る。	つけている。		いる。	る姿勢と、自ら「学び続ける」態	る能力を身につけている。
									度を身につけている。	
			++== 4						及と別につけている。	
	英語		英語 1							0
			英語 2 英語 3							0
外			英語 4	_						0
玉		1~4	英語 1 (補講)	1						, ,
語		1~4	英語 2 (補講)							, s
			英語 3 (補講)							Ö
科		1~4	英語4(補講)							Ō
a L			英語表現技術		0	0				0
- Г	英語以外	1~	イタリア語・イタリア文化	0		0			0	0
		1~	中国語・中国文化	O		O			O	0
			海外フィールドスクール	0		0	1		0	0
		1 · 2 · 3	スプリングセミナー		0	0				
		2·3 1~	技術者倫理 基礎表現 1	0		0		1	0	
			基礎表現 2	1	0	0			1	
			コンビュータリテラシー		ŏ	Ö			0	8
			コンこユ ラッテラン スボーツ総合演習	0	0	ŏ			ŏ	0
	総	1~	認知科学	ŏ		ŏ			ŏ	
			デザイン文化論		0	ŏ				
	系		環境とエネルギー	0	9	Ö			0	
			エンジニアリングデザインの基礎			Ŭ .			Ŏ	0
		1~	エンジニアリングデザインの応用						Ö	Ö
		1~	デザイン工学概論		0	0	0	0		
			数理統計学		0	0			0	0
		2~	デザイン思想史概論		0	O				
			文明と資源		Q	Q				
⊢			マテリアルデザイン		O	O O			0	0
基	ı		文化と文明 哲学	0		0			0	
盛	λ.		現代企業論	0		0			0	
4	文 社 会 系		エコノミクス	i i		ŏ			T ö	
		1~	文化人類学	Ŏ		Ŏ			ŏ	
∃		1~	知的財産権	Ö		Ŏ			Ŏ	
		1~	マーケティング	0		Ó			Ó	
		1~	法学概論	0		0			0	
L			公共経営戦略				0	0		
	理 工 系 留	1 · 2 · 3	数学 1						O O	Q
		1 • 2 • 3							0	0
			数学 2 物理 2	-					0	8
			生態学概論	1				-	8	Ö
			地理空間分析基礎	1	0	0	1	1	<del>                                     </del>	0
⊢			日本語 1	1	<u> </u>	i – – –	†	<u> </u>	<u> </u>	8
		1~	日本語 2							ŏ
		1~	日本語3							0
	学		日本語 4							0
	生		日本文化論	Q		0			O O	
			日本の工業技術	0	ļ	0			0	
_			一般数学	1					0	0
	入		建築のしくみ デザインスタジオ1 (建築)	-	0	0	0	0	1	()
- 1	科	1.2.3	デザインスタシオ1(建築)	-	Ö	0	0	0		8
- 1	科		図形の技術	1	Ö	Ö	Ö	0		<del>                                     </del>
- 1			材料の力学	1	ŏ	ŏ	<u> </u>	<u> </u>	0	0
- 1			部材の力学	1	i š	ŏ	1	1	T ö	ŏ
- 1			骨組の力学		ŏ	ŏ			ŏ	Ŏ
- 1		2 • 3	建築生理心理 1		ŏ	ŏ			ŏ	Ŏ
- 1		2 · 3	建築気候		Ö	Ö			Ö	Ö
		2 · 3	デザインスタジオ3		Ó	Ó	0	0		Ó
		2 · 3	デザインスタジオ4		0	Ö	Ö	Q		0
		2 · 3	構法スタジオ1		0	0	0	0		0

				ディプロマポリシー 学位授与の方針についての目的や目標						
				法孙DP-I·↓▽科学 社会科学	法政DP-II: 専攻する学問分野の知	法形DP-III· 言語,数理,情報!!	注放DP-TV・社会が拘える新たか	法孙 DP-V:主体的 自主的 能	注政DP-VI・グローバルか組占と	法政DP-VII・総合的に修得した知
	区分	学年	ション		識・技能をもって、他の学問分野		課題を発見し、論理的分析に基づ		ローカル社会の価値への深い認識	
	区刀	子牛		広い知識をもって、複眼的、多面	との関連を理解しながら、それら		き想起した解決の方法を、他者に		のもと、多様性を尊重し、「持続	と思考力をもって、積極的に社会
				的に思考する能力を身につけてい	を応用する能力を身につけてい	て他者と意見交換する能力を身に	説明する能力を身につけている。	調し、協働する姿勢を身につけて	可能な地球社会の構築」に寄与す	貢献を果たし、市民社会で活躍す
				る。	る。	つけている。		いる。	る姿勢と、自ら「学び続ける」態	る能力を身につけている。
									度を身につけている。	
		2.3	構法スタジオ2			()	()	0		0
	基 礎 科		建築計画1		ŏ	ŏ	ŏ	ŏ		
		2~	建築計画 2		Ö	Ō	Ö	Ō		
			建築生理心理 2		0	0			0	0
			西洋建築史		<u> </u>	<u> </u>	0	0		
	目		環境工学 設備入門		0	0			0	8
			建築材料		Ö	8			Ö	<del>  8</del>
		2~	日本建築史		ŏ	ŏ	()	0	0	
			建築の空間と形態		Ö	Ö	Ö	Ö		
			サステナブルデザイン		Ö	Ö				
			都市建築史スタジオ 地図とGIS		0	9	0	0		8
			型図とは15 都市・地域政策		0	8			0	0
			マテリアルサイエンス概論		ŏ	ŏ				
		2~	テクニカルライティング		ŏ	Ö				0
			医療福祉工学		0	0				
			建築の地盤力学		Ö	O O			0	0
			建築デザイン論 1 空間の構造デザイン		0	0	0	0		
専			至同の構造デリイン 鉄筋コンクリートのデザイン		0	0			0	0
P9			光・視環境		ŏ	ŏ			ŏ	<del>                                     </del>
			設備デザイン基礎		Ö	Ö	0	0	Ŏ	Ŏ
科目			施工管理		0	0	0	0		
			建築デザイン論2		Ö	Ö	Ö	Ö		
			デザインフォーラム 都市建築史		0	0	0	0		
			建築法規(建築)		Ö	ŏ	ŏ	0		
			鋼のデザイン		Ö	Ö	9	Ŭ.	0	0
			建物の耐力		0	Ö			0	0
			木造建築の構法		O O	Q	0	0		
	展開		音・振動環境 建物の振動と耐震化		0	0			0	0
			デザインスタジオ5		Ö	8	0	0	0	<del>  8</del>
			デザインスタジオ6		ŏ	ŏ	ŏ	ŏ		ŏ
	科		構造計算プログラミング		Ö	Ö			0	Ö
	E		フィールドワーク(建築)		<u> </u>	0				0
			デジタルスタジオ 環境デザインスタジオ		0	0	0	0	0	0
			<sup>県児テリイ</sup> ンスタシオ ビルディングワークショップ		0	Ö	0	0	0	8
			日本建築史実習		ŏ	ŏ			ŏ	<del>                                     </del>
		3~	タウンマネジメント		Ö	Ö				
			公共空間デザイン及演習		Ö	Ö				
		3~ 3~	品質マネジメント ランドスケーブデザイン		0	0				
			カントスケーノデザイン 都市デザイン		0	0				
			減災工学		Ö	8				
		4	デザインスタジオ7		Ö	Ö	0	0		0
			エンジニアリングスタジオ		Q	Ö	0	O O		Q
			卒業研究1(建築)		0	0	0	0		0
			卒業研究 2 (建築) 卒業制作 1		0	0	0	0		0
			卒業制作2		ŏ	Ö	Ö	i ö		Ö
		_	Design Basics in English		Ü		Ü	Ü		0
	特別科目		特別講義 (Theory and Practice of					1		<del>                                     </del>
		7~	· ·	0	0	0				
			Architectural Drawing)					I		